

まだまだ終わらない公開勉強会

4

何故、ロンドンは600億円の メインスタジアムで五輪を開催したのか？

日本人建築士が見た五輪競技場建設現場



講師：山寄一也（建築士）

日時：2015年9月16日（水）19:00-21:00（18:30開場）

会場：建築家会館本館 1階ホール

東京都渋谷区神宮前 2-3-18

http://www.kenchikuka-kaikan.jp/?page_id=15

会費：1,000円（要申込）

申込：<http://2020-tokyo.sakura.ne.jp>

FAX:03-5214-6663

7月17日、安倍首相は新国立競技場整備計画の白紙撤回を表明しました。しかし9月1日にJSCが発表した新規要項は旧計画案をほぼ踏襲するもので、白紙撤回とはいったいなんだったのだろうと言う内容でした。これではさらに混迷を深めるばかりです。

そこで今回は、ロンドン五輪で世界遺産でもあるグリニッチ公園内に建設された馬術競技場の現場監理にたずさわられた山寄氏にロンドン五輪について伺います。

山寄一也氏プロフィール

1974年東京都生まれ。芝浦工業大学大学院建設工学修士課程修了。2001年単身渡英。観光ビザで500社以上の就活をし、ロンドンを拠点に建築設計活動を開始。2003?2012年に勤務したアライズ アンド モリソンアーキテツでは、欧州最大級となるハブ駅、キングスクロス・セントパンクラス地下鉄駅改修工事の現場監理やロンドン五輪の招致マスタープラン模型、レガシーマスタープラン、グリニッジ公園馬術競技場の現場監理に関わる。

2013年1月帰国。山寄一也建築設計事務所設立。女子美術大学非常勤講師



お申込→

